

農 商 工 トレンド



あーびゃーんもーゆ琉球月桃

代表 田島 勝氏

有機JAS認定を受けた椿を原料に、プロとして納得のいく商品を作りたい。

連携パターン

商業者主導による商品開発

参入のきっかけ

髪を再生する製品を開発するため



明るく清潔に保たれた工場内部には、特注の機材が整然と配置されていた。

■国頭村の椿に着目

長年理髪店を営んできた田島勝氏が代表を務めるあーびゃーんもーゆ琉球月桃は、沖縄の水と薬草を使ったヘアケアとスキンケア商品の製造、販売を行っている。社名にある「あーびゃーんもーゆ」とは、出身地である与那国の方言「あびゃん(美しい)」に「もー(百、すべて)」「ゆ(世)」を加え、世の中の多くの人を美しくしたいというメッセージを込め生み出した造語だという。そんな田島氏だが、若い頃は髪本来の美よりも見た目の美を追求。その結果、お客様の髪を痛めつけばろぼると落としたこともあったそうだ。最悪の状況を経験した時、痛めた髪を美しく再生する方法はないかと思ったのが製品開発のきっかけだったと語る。



培った経験が、国頭村産の椿に無限の可能性を見いだす。

会社設立から今年8月で3年。自然豊かな環境の中で製品開発を行いたいと浦添市にあった工場を昨年2月に国頭村比地へ移した。そんな折、国頭村にヤブツバキがあることを知った。「村の方々からの推薦もあり、椿を原料にした製品開発に取り組むことを決めました。椿油は肌の老化を防ぐオレイン酸を80%も含み、地球上にある植物油の中で一番人間の皮脂膜に近い油。これを原料にしたコスメ製品を商品化し将来的には健康食品など幅広く開発していきたい」と語る。昨年は、商品開発に向けて椿の成分を徹底的に分析した。本来椿油は種子のみを使用するが、田島氏は椿の花、茎、葉の全てを分析。その結果、これまでコスメの原料に使用されていない新しい成分を発見したという。また、頑固なまでに安心安全な素材にこだわる田島さんは、国頭村奥にある8000坪の椿畑の有機JAS認定を受けた。認定を受ける

には厳しい条件をクリアしなければならないが、執念ともいえる取り組みで短期間でクリア。さらにその事業内容と将来性が認められ、県が実施する地域資源活用支援事業にも選ばれたそうだ。

「素材を徹底的に追求し良い商品を開発すれば使う人に必ず伝わり、その良さを知れば必ずリピーターになってくれる」。やるからには徹底的にこだわるのがプロだと語る。その情熱と開発にかける真摯な姿勢が、自信へ繋がっているのだと感じた。

■安心して使えるベビーコスメを作りたい

有機JAS認定を受けた安全な椿を最大限活かす商品として、まず赤ちゃん向けのベビーオイル、ミスト、全身用ソープ、乳液などの製造に取り組んでいるという。孫がアトピー性皮膚炎

を患って、小さな体に多くの薬を塗られているのを見らうち、安心安全な素材を使ったものを作りたいという思いが強くなっていったという。「国頭の椿はその条件を満たしている」と語る。早ければ7月には新商品が日の目を見る予定だ。田島氏の「あーびゃーんもーゆ」の思いから生まれた製品を、多くの人に試してもらいたい。今後も沖縄の素材開拓を続け、世界に通用する沖縄ブランドの確立を目指していくと目を輝かせていた。

問い合わせ先

あーびゃーんもーゆ琉球月桃

〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村字比地777-1
TEL : 098-041-3755 FAX : 098-041-3756
URL <http://ahbyanmoyu.chu.jp>